

骨密度検査（DXA 法）とは？

骨の健康は、健康寿命の第一歩

骨密度は、加齢とともに自覚症状のないまま**静かに低下**していきます。

特に女性は、ホルモンバランスの変化により急激に低下しやすい特徴があります。

骨折による寝たきりを防ぐために、まずは、「ご自身の現在の骨の強さ」を**正確に知ることが**重要です。

骨密度検査（DXA 法）とは微量な X 線を使用して、骨の密度を正確に測定する**最も信頼性の高い**検査方法です。

【腰椎（ようつい）】

腰の骨。体を支える中心となる柱です。骨折すると QOL（生活の質）に大きく影響します。

【大腿骨（だいたいこつ）】

足の付け根の骨。歩行を支える要です。転倒による骨折が寝たきりの主な原因となります。

当院では、これら 2 つの重要部位を両方測定します。

■ 当院の DXA 検査

極めて少ない被ばく量

従来の X 線検査と比べても極めて被ばく量が少なく、定期的な経過観察でも安心です。

ブレのない高解像度

微細な骨の構造変化を見逃さず、より正確な骨粗しょう症の診断を強力にサポートします。



骨密度定量装置「Lunar」



痛みなし・寝るだけ

ベッドに仰向けに寝ていただくだけの検査です。
痛みや苦痛は一切ありません。



わずか 10 分程度

測定時間は非常に短時間で終了します。
お体への負担が少なく、お待たせしません。

検査当日の流れ



STEP 01

受付・着替え

金属のない検査着へ着替えをお願いします。検査箇所金属。プラスチック製品がない場合は着替えは不要です。



STEP 02

検査（約 10 分）

ベッドに寝るだけ。
息止めもなくリラックスして行えます。



STEP 03

結果

検査結果を 2 枚のレポートにし、お渡しします。過去の検査結果との比較も可能です。

検査結果の見方（評価基準）

若年比較（基準値）

100%（基準値）

骨量減少域

80%以下

骨粗しょう症域

70%以下

- ① 若年比較（YAM）：20～40 歳の平均値を 100%とし、現在の自分の骨量を比較します。
- ② 同年代比較：同年代の平均値と比較し、どの位置にいるかを確認します。